

## 令和5年度第3回大船渡市学校支援活動運営委員会

日時 令和6年3月13日(水) 午前10時～11時30分  
場所 大船渡市役所 第1会議室  
出席者 運営委員会委員 3名  
高橋多鶴子委員長、紀室浩委員、菅原優子委員  
大船渡市  
生涯学習課：課長、課長補佐、主事  
中央公民館：館長補佐、主任  
学校教育課：指導主事

[会議内容]

### 1 開 会

2 挨拶 高橋委員長

### 3 協 議

第1号 令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業の総括について  
事務局より、別紙資料のとおり説明し、意見を諮った。

### 〈意見・質疑応答〉

#### 【英語スクール、家庭教育学級、青少年体験学習事業について】

- ・ (紀室委員) 大変素晴らしい講座を実施していると感じる。アンケートの集計において、「講座に参加したことによる変化」や「講座を何で知ったか」の項目など、円グラフではなく、棒グラフや折れ線グラフを使用した方が、前年度との比較ができるのではないか。どの選択肢も大事である。円グラフでは回答者の割合しか分からない。  
→ (中央公民館) 講座の効果がどう表れているのか、円グラフ以外の標記など、的確な標記方法を館内で検討したい。
- ・ (紀室委員) ドローンプログラミング体験教室について、アンケートの評価が高く、学びの効果が高いと感じる。令和6年度も継続していいのではないか。  
→ (中央公民館) 今後、ドローンプログラミング体験教室を一切実施しない訳ではない。ドローンについては、成果を上げたということで、令和6年度は一旦違う講座を実施する。新しく実施する講座がどう評価されるかも踏まえる。
- ・ (菅原委員) 家庭教育学級について、今年度実施予定でなかった大船渡中学校区で実施した経緯について伺いたい。  
→ (中央公民館) 大船渡中学校区は令和4年度実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の関係もあり、大船渡中学校、大船渡小学校、大船渡北小学校の日程調整が困難ということもあり、実施できなかった。今年度は、大船渡中学校から早い時期で実施希望があり、実施できた。
- ・ (菅原委員) 家庭教育学級開催に当たり、誰が日程調整するのか。  
→ (中央公民館) 事務局校が日程調整する。第1回の会議で菅原委員から、来年度の実施対象校へは、実施対象校である旨事前に通知してほしいと指摘があったため、令和6年度の実施対象校には、令和5年12月に事前に通知した。

- ・（菅原委員）「参加者全体に学習機会を提供できるよう工夫していきたい」と資料には記載されているが、具体的なことは考えているか。
- （中央公民館）講座の回数を増やす方向で考えている。ただ、予算との兼ね合いもある。アンケート結果では、長期休暇付近が参加しやすいとの意見が多かったので、開催時期も工夫し、申込みした全員が参加できるようにしたい。

#### 【スクールガード配置事業、学校支援事業について】

- ・（紀室委員）感想になるが、スクールガードについては、年を取った方も貴重だと思った。たまに登下校の様子を見かけるが、スクールガードと子どもたちが良い雰囲気であり、地域の人を子どもが知る機会にもなる。地域コーディネーターも適切に配置し、学校支援が進んでいる。図書支援活動地域ボランティア研修会においては、活動における良い案の共有、課題解決、ボランティア同士の横の繋がりができてとても良い。
- ・（菅原委員）スクールガードアンケート調査において、集計結果は学校やスクールガードに対し公表しているのか。
- （生涯学習課）公表していない。スクールガードに対して好意的な意見ばかりではないので、公表しないでほしいと希望する学校もある。
- ・（菅原委員）学校支援活動運営委員会の資料は学校支援に直結すると良い内容だ。学校へ送付し、校長先生は見るべきだと考える。
- （生涯学習課）会議資料と会議報告書は、市公式ホームページに掲載しているが、それとは別に学校へ送付することとする。

#### 【学校運営協議会、地域学校協働活動】

- ・（紀室委員）資料において、熟議の達成度が「△」だが、どうしてか。
- 各校の学校運営協議会資料の中で「熟議」と明確に位置付けられるものだけを実績としてひろった。熟議という標記はしていなくても、委員同士で意見交換した学校もある。

第2号 令和6年度大船渡市地域学校協働本部事業の評価検証方針について  
事務局より、別紙資料のとおり説明し、意見を諮った。

#### 〈意見・質疑応答〉

##### 【英語スクール、家庭教育学級、青少年体験学習事業について】

- ・（菅原委員）英語体験教室は何年続いているのか。また、来年度も講師は佐藤英会話となるか。
- （中央公民館）現在の形での開催は3年（講師：佐藤英会話）である。新型コロナウイルス感染症の影響で途切れたこともあるが、7～8年前から違う事業で実施していた。近場で外国人講師を呼べるのが佐藤英会話のみなので、来年度も依頼する予定だ。
- ・（菅原委員）今年度、英語体験教室に1回参加した。楽しかったがもっと工夫できると思った。親がもっと体験できる時間があれば良いなと思ったのが1つと、塗り絵の時間がもったいないと感じた。もっとコミュニケーションの時間を増やした方が良いと思うが、講師に対してその旨伝えることは可能か。
- （中央公民館）意見は伝えられるが、それを受けて講師が内容を変更するかは分からない。
- ・（菅原委員）英語圏の国は世界にたくさんある。英語が話せると世界と繋がる。英語

を話す時間を増やせば、より学びが深まり、英語に興味を持つとっかかりとなる。今年度と同じ講師ならその旨伝えやすいと思った。

#### 【スクールガード配置事業、学校支援事業】

- ・（菅原委員）スクールガードの配置よりも先に、子どもたちの交通安全教室がまず大事だと考える。特に中学生。小学校では、歩道の歩き方や横断歩道の渡り方など年度当初に行ったりするが、自転車の運転の仕方など、中学生も危ないと感じる。学校で交通安全教室をしっかりとやり、子どもたち自身も安全に気を付けた上で、カバーしきれない部分をスクールガードに守っていただいているという意識を持つべき。

交通安全教室にスクールガードを呼ぶなど、どういった方がスクールガードとして配置されているのか、子どもたちに紹介する機会があってもいいのではないか。

- （生涯学習課）交通安全については、市民環境課が担当している部分でもあるため、市民環境課と連携していく。また、スクールガードは登下校時に活動するボランティアであるため、交通安全教室にスクールガードを参加させられるかは、学校と相談が必要である。

- ・（高橋委員長）スクールガード等の毎月の活動報告書について、現在、1回の活動毎に校長印の押印を求められているが、簡略化できないか。また、原本の提出でなければいけないのか。校長会でも簡略化できないか話題に挙がった。

- （生涯学習課）スクールガード等の謝金は基本給ではなく、実際に活動した時間に対して謝金を支出するものなので、活動報告書への押印により1回1回活動時間を確認していただきたい。また、原本での保管が必要なので、原本の提出をお願いする。

#### 4 その他

- ・事務局から、令和6年度第1回目の学校支援活動運営委員会の開催を6月に予定している旨、報告。

#### 5 閉会